

## 目 ジェンダー論への招待

科目名 Course Title	授業コード	単位数	配当年次	開講期間 Term	科目分類	ナンバリング コード	曜日 コマ	教室	担当教員氏名 Instructor
ジェンダー論への招待 Introduction to Gender Studies	A210550001	2	1	前期授業	教養科目		水3	B3-117	熊安 貴美江・他

### オフィスアワー

木曜日4コマ(14:40~16:00)  
\*事前にメール等で連絡ください。熊安(2018年度代表教員)kuma@las.osakafu-u.ac.jp

### 授業目標

ジェンダー概念の基本的理解を踏まえ、私たちの社会生活や学問研究におけるジェンダー視点の意義を具体的に理解する。身近なテーマとジェンダーのつながりについての多角的な解説を通じて、各自の関心に応じた理解を深める。大学の研究は「当たり前」を見直し、多様な視点の存在を知ることから始まる。この授業を通じて、様々な学問分野やテーマへの複眼的アプローチを獲得することをめざす。

### 教科書

とくに指定しない。

### 参考書

木村涼子・伊田久美子・熊安貴美江編(2013)『よくわかるジェンダー・スタディーズ』ミネルヴァ書房。  
これ以外にも、授業中に随時紹介する。

### 関連科目

「ケアリング論」(1年後期)、「ジェンダーと社会」「家族社会学」「多文化共生の思想」(以上、2年生以上)、など。

### 授業時間外の学習(準備学習等について)

指示された文献資料に目を通す。

### 授業の概要

ジェンダー(社会的文化的性)は私たちが当たり前と思ってきた性に関する様々な思いこみを問い直すキー概念である。「性」の社会的意味を本格的に学問領域に持ち込んだ女性学の成果を踏まえ、「性」をめぐる様々な社会問題への新たな視点を提供する。この授業は女性学研究センターが中心になって運営し、センター共同研究員である学内の様々な分野の教員が、それぞれの専門分野をジェンダーの視点から論じる。(オムニバス方式/全15回)  
今期は熊安貴美江、工藤宏司、伊田久美子、福田珠己、内藤葉子、酒井隆史、児島亜希子、大森順子(ゲストスピーカー)、田間泰子(講義担当順)が担当する。

### 授業計画

第1回	熊安貴美江(イントロダクション) シラバスを配布し、授業の進行について全般的説明を行う。	準備学習	
第2回	熊安貴美江 近代スポーツにおけるジェンダー課題—性をめぐる参加と排除の諸問題—	準備学習	

第3回	工藤宏司 「ひきこもり」におけるジェンダー問題-「男性に多く、女性に少ない」を考える	準備学習	
第4回	伊田久美子 労働とジェンダー:支払われる労働と支払われない労働	準備学習	
第5回	伊田久美子 「働き方改革」と労働の変化	準備学習	
第6回	福田珠己 ジェンダーと地理的想像力 特定の場所や空間が女性像/男性像と結び付けられるようなことはないだろうか。地理学的視点から考察する。	準備学習	
第7回	内藤葉子 女性はどのように語られてきたか——西洋思想の文脈から	準備学習	
第8回	内藤葉子 女性はどのように語りはじめたか(1)——理性と身体のはざま	準備学習	
第9回	内藤葉子 女性はどのように語りはじめたか(2)——自由と平等を求めて	準備学習	
第10回	酒井隆史 男とはなんだったのか? やくざ映画にみる「男らしさ」	準備学習	
第11回	児島亜希子 社会福祉と「ジェンダー」 社会福祉学はフェミニズムをどうとらえてきたか?	準備学習	
第12回	児島亜希子 社会福祉とジェンダー 社会福祉における「女性」問題::母子世帯と女性の貧困	準備学習	
第13回	児島亜希子 社会福祉とジェンダー ケアと依存をめぐる	準備学習	
第14回	大森順子 ひとり親の生きづらさを考える-あなたがもしシングルマザー(ファザー) だったら?- 日本社会がひとり親家庭に強いている経済的、社会的、精神的困難についてジェンダーの視点でいっしょに考えましょう。ワークショップを行い、自分ごととしてひとり親家庭の生きづらさを実感し、学べるような講義にしたいと思っています。	準備学習	
第15回	田間泰子 リプロダクティブ・ライツとジェンダー 性と生殖に関連したジェンダーの諸課題、日本の現状、人権としての性と生殖の保障について論じる。	準備学習	

## 成績評価

成績は、平常点(出席や、授業中もしくは次回授業にて提出させる小レポート・小テスト等)を50%、学期末レポートを50%として評価し、60点以上を合格点とする。レポート課題、その他詳細は6月末に周知し、7月の最終授業時間にレポート提出とする。

印刷する / Print

閉じる / Close